

1万2千食の新給食センター 市民意見無視して強行

結果ありきのパブリックコメント

計画案についてのパブリックコメント手続(市民意見の公募)が行われ、104人から528件の意見が寄せられました。

高崎市や太田市のような自校調理方式を望む意見が87件(83・7%)で、1万2千食の大調理場が良いという意見は6件(5・8%)だけでした。

「コストや価格比較を優先するのは問題」、「食材の一括仕入れ・大量仕入れは安全性低下につながるのでは?」と、巨大調理場建設に疑問を投げかける意見も目立ちました。

しかし、市の回答は、早期整備が必要だからセンター方式による設置を継続するというものでした。地場産農産物の活用にも有利、生産者・調理者の顔が子どもに見え食育にプラスなど、様々な自校調理方式の優位性をどう検討したかには、一切触れられません。

これでは、「結果ありき」のパブコメだったと言われても仕方ありません。

消えたアレルギー対応室

アレルギー対応食を作る部屋について、市は態度を二転三転させ、結局設置しないことになりました。

「同じものを一緒に美味しく食べる。」という食育の主旨からみれば、対応食の調理室を新調理場建設に合わせて作るどころそ、時代の流れではないでしょうか?

食材調達方式の改善で 地場農産物・地場製品の積極活用を

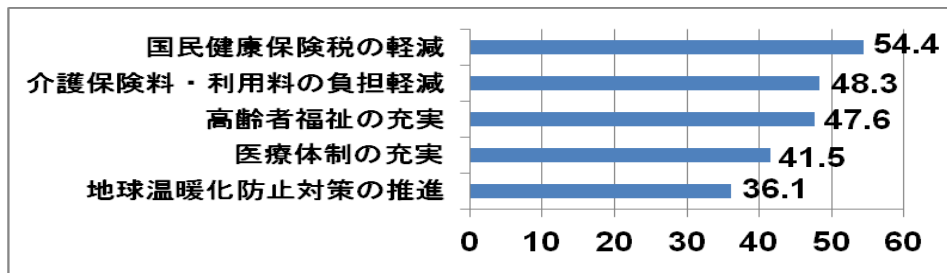
これまで、市は食材調達は「旧調理場ごとの納入方式を引き継ぐ」としてきました。しかし、現在の給食調理場の地場農産物や冷凍品・加工品の利用割合や調理方法には、かなり差があります。

新調理場建設を待たず、食材調達方式を見直して地場農産物などの利用割合を向上させ、調理方法も改善するなど、調理場全体の運営の見直しを求めました。

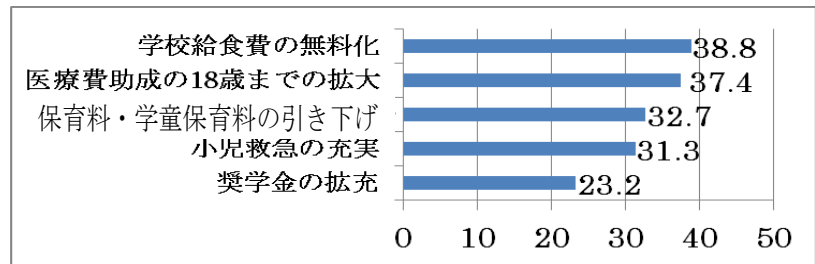
本日に「日本一おいしい給食」にしたければ、市民意見に真摯に耳を傾け、改善の努力を続けることが大切です。

2016 暮らしと市政アンケートから

●伊勢崎市政に望むこと(上位5項目・単位は%)



●子育て支援策として望むこと(上位5項目・単位は%)



日本共産党議員団が隔年で行っている、市政アンケート(全147通)の結果が出ました。

「暮らしが苦しくなった。」が60・5%と大変な状況です。市政・子育て支援の要望も多彩です。実現に全力で頑張ります。

交通安全対策 要望に回答

交通安全対策で出された要望に対して、薄れたり消えたりしている連取町・葦塚町内の道路上の白線は秋に全て引き直す、要望箇所のカーブミラーの改修や設置を行うとの回答が、交通対策課からありました。



葦塚町内の消えた白線

県内でも広がる学校給食費の無料化・助成

- 南牧村 H22.4~ 小・中学生全額無料
- 上野村 H23.4~ 小・中学生全額無料
- 神流町 H23.4~ 小・中学生全額無料
- 前橋市 H24.4~ 小・中学校に3名以上在籍の3子以降給食費補助
- 太田市 H25.4~ 小・中学校に3名以上在籍の3子以降給食費補助
- 榛東村 H25.4~ 小・中・高校に3名以上在籍の3子以降給食費補助
- 片品村 H25.4~ 小・中学校に2名以上在籍の2子以降給食費補助
- 富岡市 H27.4~ 18歳未満3人以上養育で3子以降給食費補助
- 桐生市 H27.4~ 子ども3人以上養育で3子以降給食費補助
- 安中市 H27.10~ 6~18歳3人以上扶養で3子以降及び中学3年無料
- 渋川市 H28.4~ 子ども3人以上扶養で3子以降無料
- 孺恋村 H28.4~ 小・中学生全額無料
- みどり市 H29.4~ 小・中学生全額無料(予定)
- 玉村町 給食費半額補助を掲げた角田氏が町長に就任

伊勢崎市は、「食材費は保護者負担」といい続けています。しかし、文部科学省も、給食費の無料化・助成は自治体判断と答えています。党市議団の市政アンケートでも、「子育て支援策として望むこと」の第一位になりました。若い保護者に「子育てするなら伊勢崎で」とアピールできるように、実現を求めました。

高齢者の「足」確保を



障害者などのコミュニティバス無料化継続や、バス以外の公共交通網全体の検討を、開始すべきです。

高齢者のタクシー券は、制度が定着し、利用枚数も増えています。

ただし、車を所有する家族と同居だと、交付されません。しかし、昼間は仕事で乗せて貰えない世帯がほとんどです。病院に通うと「医療費よりタクシー代が高い。」という人が、たくさんいます。いつそうの改善が必要です。

前橋市や太田市のような、電話で予約する乗合バス(デマンドバス)についても、運行開始を望む声が高まっています。

市は、コミュニティバスの有料化を検討する「地域公共交通会議」を設置しました。

この会議で、運転に危険な兆候が現れた高齢者が安心して運転免許を返上できるように、高齢者や